

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(学校教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	奨学資金貸付運営経費	事業番号	159

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-5	高等学校教育の充実
	施策目標	豊かな心と健やかな体を育む高等学校教育が充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	現在、市内中学生の進学率はほぼ100%に達しており義務教育的性格が強くなっているため、高等教育機関への進学に係る経済的な負担を軽減するため、入学準備金及び奨学資金を貸し付ける。
成果	経済的な理由で学生の向学心が排除されることのないよう、教育機会の拡充を図り、保護者の経済負担の軽減を図る。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要						
	27	奨学資金制度の周知、貸付、貸付金の収納						
	28	奨学資金制度の周知、貸付、貸付金の収納						
	29	奨学資金制度の周知、貸付、貸付金の収納						
	30	奨学資金制度の周知、貸付、貸付金の収納						
	31	奨学資金制度の周知、貸付、貸付金の収納						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		1,026	1,984	1,984	1,984	1,984	8,962
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	1,026	1,984	1,984	1,984	1,984	8,962
	一般財源							
	人員(人工)		0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	
職員費(人員×8,081千円)		1,374	1,374	1,374	1,374	1,374	6,870	
総事業費		2,400	3,358	3,358	3,358	3,358	15,832	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	奨学資金の貸付件数(年間:新規貸付・継続貸付含む)	5件	5件	5件

**事務事業改善策
(継続事業のみ記入)**

貸与型から給付型へ移行している自治体もあることから、根室市においてもその必要性を調査・研究し、奨学資金制度を見直すことも考えられる。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	経済的な理由で学生の向学心が排除されることのないよう、教育機会の拡充が図られ、保護者の経済負担を軽減することができる。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 新規貸付者数は毎年1～3名程度となっており、奨学資金に対する一定の需要はある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 学校教育法において、教育の機会均等を図るため、奨学資金制度は必要である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 恒常的に奨学資金制度を運用していく。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の可能性はある 貸与型から給付型へ移行している自治体もあることから、根室市においてもその必要性を調査・研究し、奨学資金制度を見直すことも考えられる。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 奨学資金を貸与されるには、収入状況や成績による要件を満たさなければならない。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 教育の機会均等を図るためには必要である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、市民ニーズや国の動向等を踏まえた制度の見直しについて、検討を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 学校教育法において教育の機会均等を図るため、引き続き継続していく必要がある。また、奨学資金制度の周知方法及び見直しについても検討していく。

作成年度 平成27年度